

2026年度 研修要綱のご案内



— 目 次 —

2026年度 研修開催一覧	2
2026年度 研修カレンダー	4
担保したい力量	6
研修申込方法について	7
(Web) 研修受講ルール	8
認定医療ソーシャルワーカーについて	9
自然災害・感染症等の発生時における研修運営について	9
個人情報の取扱いについて	9
医療ソーシャルワーカー基幹研修 I e-ラーニング	10
医療ソーシャルワーカー基幹研修 I Webライブ研修	11
医療ソーシャルワーカー基幹研修 II	12
第22期 保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修 (医療ソーシャルワーカー基幹研修 III)	13
実習指導者養成認定研修	14
人材開発・養成講座	15
スーパーバイザー養成認定研修	16
認定社会福祉士認証・認定機構スーパービジョン説明会	17
認定社会福祉士認証・認定機構スーパーバイザー登録推進研修	17
グループスーパービジョン体験研修	18
スーパーバイザーのためのサポート講座	19
ソーシャルワーク スキルアップ研修	
スーパービジョン	19
ISTT (統合的短期型支援) 研修 -理論トレーニング I (基礎理論) -	20
ISTT (統合的短期型支援) 研修 -理論トレーニング II (BPS理論) -	21
面接技術 ～ソリューション・フォーカスト・アプローチ～	21
入退院支援専門ソーシャルワーク研修	22
周産期・小児ソーシャルワーク研修	23
ソーシャルワークにおける就労支援	24
ソーシャルワークにおける臨床倫理	25
認知症がある方へのソーシャルワーク支援	26
医療機関におけるソーシャルアクション	27
人生の最終段階における意思決定支援研修会	27
身元保証人問題へのソーシャルワーク	28
一般医療機関における依存症リハビリソーシャルワーク研修	
MSWが知っておくべき依存症と家族支援【第1回】(集合研修)	29
MSWが知っておくべき依存症と家族支援【第2回】(Webライブ研修)	30
災害ソーシャルワーク研修 I	31
災害ソーシャルワーク研修 II	32
フレッシュ医療ソーシャルワーカー1日研修会	33
社会福祉を学ぶ学生のための医療ソーシャルワーク学生講座	34
認定社会福祉士認定研修	35
こども家庭ソーシャルワーカー指定研修	36
日本医療ソーシャルワーカー協会の研修体系図	37

2026年度 研修開催一覧

No.	研 修 名 称		開 催 日
1	医療ソーシャルワーカー基幹研修I e-ラーニング		2026年4月1日～ 2027年3月31日
2	第35回 医療ソーシャルワーカー基幹研修I Webライブ研修		2026年 5月30日
3	第36回 医療ソーシャルワーカー基幹研修I Webライブ研修		2027年 1月23日
4	第37回 医療ソーシャルワーカー基幹研修I Webライブ研修		2027年 2月27日
5	第33回 医療ソーシャルワーカー基幹研修II		2026年 7月 4日～ 7月 5日、 7月18日～ 7月19日
6	第34回 医療ソーシャルワーカー基幹研修II		2026年10月 3日～ 10月 4日、 10月17日～ 10月18日
7	第22期 保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修 (医療ソーシャルワーカー基幹研修III)	通 信	2026年4月～ 2027年3月
		スクーリング	2027年 1月31日、 2月 7日、 2月14日
8	第44回 実習指導者養成認定研修		2026年10月10日～ 10月12日
9	第45回 実習指導者養成認定研修		2026年11月21日～ 11月23日
10	人材開発・養成講座		2027年 2月 6日
11	第26回 スーパーバイザー養成認定研修		2026年 9月26日～ 9月27日
12	第27回 スーパーバイザー養成認定研修		2027年 1月24日、 1月30日
13	第18回 認定社会福祉士認証・認定機構スーパービジョン説明会		2026年 9月13日
14	第19回 認定社会福祉士認証・認定機構スーパービジョン説明会		2027年 3月14日
15	第11回 認定社会福祉士認証・認定機構スーパーバイザー登録推進研修		2026年 9月13日
16	第12回 認定社会福祉士認証・認定機構スーパーバイザー登録推進研修		2027年 3月14日
17	第7回 グループスーパービジョン体験研修		2026年 8月22日～ 8月23日
18	第8回 グループスーパービジョン体験研修		2026年11月 7日～ 11月 8日
19	スーパーバイザーのためのサポート講座		2026年10月24日～ 10月25日
20	スーパービジョン		2026年 6月28日
21	ISTT (統合的短期型支援) 研修 - 理論トレーニング I (基礎理論) -		2026年11月29日
22	ISTT (統合的短期型支援) 研修 - 理論トレーニング II (BPS理論) -		2026年12月13日
23	面接技術 ～ソリューション・フォーカスト・アプローチ～	①	2026年 8月 1日
		②	2026年 9月12日～ 9月13日
24	入退院支援専門ソーシャルワーク研修	東京会場	2026年 9月 5日～ 9月 6日
25	入退院支援専門ソーシャルワーク研修	福岡会場	2027年 2月20日～ 2月21日

No.	研 修 名 称	開 催 日
26	周産期・小児ソーシャルワーク研修	① 2026年 5月11日～ 6月30日
		② 2026年 7月25日～ 7月26日
27	ソーシャルワークにおける就労支援	① 2026年11月 1日～ 11月30日
		② 2026年12月12日
28	ソーシャルワークにおける臨床倫理	① 2026年11月16日～ 12月13日
		② 2027年 1月17日
29	認知症がある方へのソーシャルワーク支援	① 2026年10月13日～ 11月08日
		② 2026年11月15日
30	医療機関におけるソーシャルアクション	2026年 5月24日
31	人生の最終段階における意思決定支援研修会	2026年12月 1日～ 1月31日
32	身元保証人問題へのソーシャルワーク 基礎編	2026年11月 2日～ 1月11日
33	身元保証人問題へのソーシャルワーク 実践編	2026年11月 2日～ 1月11日
34	身元保証人問題へのソーシャルワーク 基礎編・実践編	2026年11月 2日～ 1月11日
35	一般医療機関における依存症リハビリソーシャルワーク研修 MSWが知っておくべき依存症と家族支援 第1回	① 2026年10月 1日～ 11月 1日
		② 2026年11月 8日
36	一般医療機関における依存症リハビリソーシャルワーク研修 MSWが知っておくべき依存症と家族支援 第2回	① 2026年10月 1日～ 11月 1日
		② 2026年12月13日
37	災害ソーシャルワーク研修I	2026年 9月 1日～ 11月30日
38	災害ソーシャルワーク研修II 10月会場	2026年10月24日～ 10月25日
39	災害ソーシャルワーク研修II 11月会場	2026年11月28日～ 11月29日
40	第46回 フレッシュ医療ソーシャルワーカー 1日研修会	2026年 9月 6日
41	第47回 フレッシュ医療ソーシャルワーカー 1日研修会	2026年11月 8日
42	社会福祉を学ぶ学生のための医療ソーシャルワーク学生講座	2027年 2月27日～ 2月28日
43	認定社会福祉士認定研修	2027年 2月13日～ 2月14日
44	こども家庭ソーシャルワーカー指定研修	2026年 7月 1日～ 12月27日

掲載 コース	研修名称	2026年				2027年							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
24	ソーシャルワークにおける就労支援				申込 7/21 ▶ 8/23			オンデマンド視聴 11/1 ▶ 11/30	12/12	Webライブ研修			
18	第8回 グループスーパーバイザー体験研修				申込 7/27 ▶ 8/30			Webライブ研修 11/7、8					
28	身元保証人問題へのソーシャルワーク 基礎編 実践編 基礎編・実践編				申込 7/27 ▶ 8/30				オンデマンド視聴 11/2 ▶ 1/11				
33	第47回 フレッシュ医療ソーシャルワーカー 1日研修会				申込 7/27 ▶ 8/30			集合研修 11/8					
14	第45回 実習指導者養成認定研修				申込 8/10 ▶ 9/13			Webライブ研修 11/21 ▶ 23					
17	第18回 認定社会福祉士認証・認定機構 スーパービジョン説明会				申込 8/10 ▶ 9/6			9/13	Webライブ研修				
17	第11回 認定社会福祉士認証・認定機構スーパーバイザー 登録推進研修				申込 8/10 ▶ 9/6			9/13	Webライブ研修				
20	ISTT (統合的短期型支援) 研修 ー理論トレーニングI (基礎理論) ー				申込 8/10 ▶ 9/13				Webライブ研修 11/29				
25	ソーシャルワークにおける臨床倫理				申込 8/10 ▶ 9/13				事前学習 11/16 ▶ 12/13	1/17 集合研修			
32	災害ソーシャルワーク研修II				申込 8/10 ▶ 9/13				集合研修 11/28、29				
27	人生の最終段階における意思決定支援研修会				申込 8/31 ▶ 10/18				オンデマンド視聴 12/1 ▶ 1/31				
35	認定社会福祉士認定研修				申込 9/1					Webライブ研修 2/13、14			
20	ISTT (統合的短期型支援) 研修 ー理論トレーニングII (BPS理論) ー				申込 9/7 ▶ 10/4				Webライブ研修 12/13				
11	第36回 医療ソーシャルワーカー基礎研修I Webライブ研修							申込 10/13 ▶ 11/15	Webライブ研修 1/23				
16	第27回 スーパーバイザー養成認定研修							申込 10/13 ▶ 11/15	Webライブ研修 1/24、30				
15	人材開発・養成講座							申込 10/26 ▶ 11/29	Webライブ研修 2/6				
22	入退院支援専門ソーシャルワーク研修								申込 11/9 ▶ 12/13	集合研修 2/20、21			
11	第37回 医療ソーシャルワーカー基礎研修I Webライブ研修								申込 11/16 ▶ 12/20	Webライブ研修 2/27			
34	社会福祉を学ぶ学生のための医療ソーシャルワーク学生講座								申込 11/24 ▶ 1/31	Webライブ研修 2/27、28			
17	第19回 認定社会福祉士認証・認定機構 スーパービジョン説明会									申込 2/8 ▶ 3/7			Webライブ研修 3/14
17	第12回 認定社会福祉士認証・認定機構スーパーバイザー 登録推進研修									申込 2/8 ▶ 3/7			Webライブ研修 3/14

担保したい力量

当協会では、認定医療ソーシャルワーカーが目指す担保したい力量として次の11の力量を掲げています。すなわち、① 統合的実践力、② 総合的及び保健医療分野の専門的知識、③ 保健医療分野の専門的技術、④ 患者アドボケート能力、⑤ リーダーシップ能力、⑥ 組織内ネットワーキング能力、⑦ 組織外ネットワーキング能力、⑧ コンフリクトマネジメント能力、⑨ 業務運営能力、⑩ スーパービジョン能力、⑪ 研究能力です。これらの能力は総じて、ソーシャルワーク全般の実践能力、実践の理論化能力、そして業務遂行を支える能力に関連するものです。またこれらの能力が当協会で提供されている研修や学び、また日々のソーシャルワーク実践を通して向上することにつながれば、ソーシャルワーカーとしての「達成感とやりがい」だけではなく、「組織内連携の促進」などの効果も期待できます。

① 統合的実践能力

論理的思考に基づいた倫理的実践であり、必要な知識、技術を駆使し業務を遂行できる実践能力を持つ。

② 総合的及び保健医療分野の専門的知識

ジェネリックソーシャルワークを理解し、保健医療分野における専門的知識を有している。

③ 保健医療分野の専門的技術

保健医療分野における面接技術、アセスメント技術、介入技術、グループ介入技術、地域介入技術、アドボケートのための技術など必要な技術を有している。

④ 患者アドボケート能力

患者など、クライアントの安全や利益を守り、患者やクライアントの自己決定を尊重できる。

⑤ リーダーシップ能力

スタッフへの影響力を考慮し、スタッフに対して動機付けができ、適切なコーチング（指導力）チーム効率の促進、変革の促進などを図ることができる。

⑥ 組織内ネットワーキング能力

組織の構造・機能を理解し、他部門、他職種との連携ができる。

⑦ 組織外ネットワーキング能力

地域文化性や特徴を理解し資源を活用ができる。さらに関係機関や大学など組織外のネットワーキングができる。

⑧ コンフリクトマネジメント能力

問題解決のためのアセスメントを行い、トラブル解決のための処理を迅速に行える。葛藤が生じる機関、部門などで生じる葛藤を予測でき、プロトコルを作成できる。

⑨ 業務運営能力

組織目標への貢献を含め、業務に対する計画、企画力、業務のタイムマネジメント、業務効率の促進、リスク マネージメント、スタッフ管理・人員配置を含む。

⑩ スーパービジョン能力

新人のソーシャルワーカー、実習生、研修生などの指導を行うことができる。

⑪ 研究能力

研究課題を設定し、それに基づく計画を立案する。またそのための予算獲得やプロトコルを書くことができる。

研修申込方法について

- (1) 当協会が主催する研修は、Webで研修会申込受付を行います。
- (2) 研修のお申込は、当協会HPの「研修関連情報」をクリックし、研修会申込み手順に従って各研修の「**研修会申込みフォーム**」に必要事項を入力の上、「**内容の確認**」ボタンをクリックしてください。

研修会申込み手順URL



<https://www.jaswhs.or.jp/images/upload/images/kenshumosnikomi.pdf>

- (3) お申込が完了しますと、「**受付完了メール**」を「**連絡先メールアドレス**」に返信いたします。必ずご確認ください。アドレスが間違っている場合には、返信メールが届きませんので、アドレスは正確に入力してください。なお、メールが届かない場合には、会員サイト「**申込み・修了履歴**」から申込み状況が確認頂けます。
- (4) お申込は、先着順に、定員に達するまで受付いたします。定員に達した場合には、当協会HPの申込みシステムで自動的に「**キャンセル待ち**」で受け付けます。キャンセルが出ましたらメールまたは電話で研修開催の3週間前までにご連絡いたします。キャンセルが研修開催3週間までにない場合はご連絡を差し上げませんこと、ご了承ください。
- (5) 画面上に「**受付終了**」が表示されている場合には、キャンセル待ちは出来ません。
- (6) 受講が確定された方には申込締切後、順次受講案内をメールまたは郵送で連絡します。なお、基本的に受講者選考以外の研修はメール連絡になります。
- (7) 受講申込をキャンセルされる場合は、会員サイト「**申込み・修了履歴**」からキャンセルをクリックして手続きを行ってください。
- (8) Webライブ研修は、職場で受講する場合でも、業務による離席は認められませんので、ご注意ください。

(Web) 研修受講ルール

1. 受講決定後、期日までに入金がない場合は、研修キャンセルと判断する。
2. 上記1の判断により、キャンセル待ちの応募者には、研修参加について研修開催3週間前までに事務局より連絡する。
3. 100%オンデマンド視聴できない場合は、Webライブ研修を受講できない。
この場合、修了証は発行しない。また受講料は返還しない。
4. 受講生が自身で管理を行うことを前提にし、オンデマンド視聴の完遂を促す連絡は行わない。
事務局で視聴状況を確認しており、それを根拠として視聴状況を判断する。
5. オンデマンド視聴は早送りをしない。通常の視聴ができるよう、研修要綱に記載されたオンデマンド視聴の内容と必要時間を確認し、時間の余裕をもって申し込みを行う。
6. 100%オンデマンド視聴したがWebライブ研修に参加できない場合は、修了証は発行しない。
また受講料は返還しない。
7. Webライブ研修では、1セッションで10%以上の離席・遅刻があると、受講しなかったものとみなす。その後の研修に参加できるかどうかは講師・研修統括事業部の判断によるが、修了証は発行しない。
8. 遅刻・欠席で受講できなかった研修において、次回に同じ研修に参加して補填する措置は行わない。
9. 当日の遅刻・欠席は、研修開始1時間前から最初の講義が開始されるまでの間に、電話番号(会員サイトに記載あり)に一報を入れる。
10. 避けがたい不測の事態(例: 病気・怪我・事故・葬儀など)や自身の責任に帰する欠席(例: 寝坊・他の予定が入ったなど)では、速やかに一報を入れる。難しい場合はこの限りではない。ただし、上記6・7・8により対応する。いずれの場合も受講料の返還は行わない。
11. 移動しながらのオンデマンド視聴およびWebライブ研修への参加は、危険なので行わない。
また、運転しながらの受講は罰せられる可能性があるため行わない。
12. グループワークや資料のダウンロード、画面共有などを行う場合があるため、スマートフォンおよびタブレットでの参加は推奨しない。
13. 知的財産権保護の観点からも、受講者本人のみが参加、視聴し、研修に集中できる環境を確保する。
14. 何らかの事情があり、上記によりがたい場合は、速やかに申し出る。
15. 受講者は、当協会が主催する研修へ申込みされた場合には、本ルールに同意されたものとみなす。

(2025年9月1日改訂)

認定医療ソーシャルワーカーについて

当協会では、社会福祉学を基にした専門的知識および実務経験有する保健医療分野のソーシャルワーカーを対象に、認定医療ソーシャルワーカーを付与しています。

- (1) 2026年6月1日より第16期の受付を開始します。
- (2) 「研修体系図」や各研修の「履修ポイント」欄を参考に、当協会HPで申請方法をご確認ください。
※認定医療ソーシャルワーカーは、当協会が認定付与しているものです。

認定社会福祉士に関する詳細は、認定社会福祉士認証・認定機構のHP (<https://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/>) をご確認ください。

自然災害・感染症等の発生時における研修運営について

自然災害・感染症等発生時、以下のように当協会主催研修の開催等を中止する場合があります。ご了承いただけますよう、よろしくお願いいたします。

- (1) 対象となる事象
自然災害・感染症等により研修開催が不可能と判断した場合
- (2) 周知方法
日本医療ソーシャルワーカー協会ホームページのトップページに掲載
- (3) 開催中止後の対応
 - 1) 自然災害により研修を中止した場合は、原則として後日開催はしません。受講料は、当協会加入の興行中止保険の適用範囲内で、受講費の返金を行います。
 - 2) 感染症等により研修を中止した場合は、原則として後日開催はしません。受講料は、受講費から振込手数料を引いた金額の返金を行います。

個人情報の取扱いについて

- (1) ご記入いただいた個人情報は、お申込みに関連した連絡にのみ使用いたします。
- (2) ご登録される情報は、実在性の証明とプライバシー保護のため、グローバルサインのSSLサーバ証明書を使用し、SSL暗号化通信を実現しています。お預かりしている情報は、連動するデータベースにより安全に管理されます。

医療ソーシャルワーカー基幹研修 I e-ラーニング

目的	医療ソーシャルワーカーとして基礎的な知識・技術を取得することを目的とする。												
対象	現に保健医療分野のソーシャルワーカーとして従事する者。												
内容	<p>【e-ラーニング】(番号はテキストに準拠) 基本的に90分講義</p> <p>0. 厚生労働行政の動向 (60分)</p> <p>1. 医療における社会保障政策の動向</p> <p>2. 医療ソーシャルワークの成立の経緯と今後の課題</p> <p>4. 医療における「患者・家族」へのソーシャルワークI</p> <p>5. 生活機能障害とソーシャルワーク</p> <p>6. 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識 (各90分)</p> <p>①糖尿病 ②脳卒中 ③がん ④緩和ケア</p> <p>⑤アルコール ⑥認知症 ⑦在宅・神経難病 ⑧心疾患</p> <p>9. 医療ソーシャルワークで用いられる実践理論とアプローチI</p> <p>10. 医療ソーシャルワークにおける面接の方法と技術I</p> <p>12. ソーシャルワーク記録I</p> <p>13. 医療ソーシャルワークの事例検討の方法I</p> <p>14. ソーシャルワークのスーパービジョンI</p> <p>15. 医療ソーシャルワークの業務改善マネジメントI</p> <p>16. ソーシャルワーク・リサーチI</p>												
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">各講義後テスト 有</div>												
	<p>※医療ソーシャルワーカー基幹研修Iはe-ラーニング+Webライブ研修として研修を開催する。</p> <p>※e-ラーニング終了だけでは認定ポイントの付与はなく、Webライブを受講して修了した時点でポイント付与される。Webライブの受講資格はe-ラーニング終了後1年以内とする。</p> <p>※講義内容についてはテキストに準拠するので、テキスト購入は必須</p>												
開催方法	ネットレコーダー・ソリューションズ株式会社の動画配信システムMOPSのe-ラーニング												
受講期間	研修申込完了の翌日から6ヶ月												
定員	240名	履修ポイント	—	担保したい力量	① ② ③ ④ ⑥ ⑦								
申込受付期間	2026年3月16日(月)～9月1日(火)												
受講費	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">当協会正会員・賛助会員(個人)と都道府県協会個人会員の同時加入</td> <td style="text-align: right;">15,000円</td> </tr> <tr> <td>当協会正会員・賛助会員(個人)</td> <td style="text-align: right;">18,000円</td> </tr> <tr> <td>都道府県協のみ個人会員</td> <td style="text-align: right;">20,000円</td> </tr> <tr> <td>賛助会員(団体)・非会員</td> <td style="text-align: right;">25,000円</td> </tr> </table>					当協会正会員・賛助会員(個人)と都道府県協会個人会員の同時加入	15,000円	当協会正会員・賛助会員(個人)	18,000円	都道府県協のみ個人会員	20,000円	賛助会員(団体)・非会員	25,000円
当協会正会員・賛助会員(個人)と都道府県協会個人会員の同時加入	15,000円												
当協会正会員・賛助会員(個人)	18,000円												
都道府県協のみ個人会員	20,000円												
賛助会員(団体)・非会員	25,000円												
テキスト	<p>中央法規『保健医療ソーシャルワークの知識と技術—キャリアアップのための実践力の構築—』 公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会編 2023年6月発行 定価3,300円(税込、 本体3,000円)を使用。</p> <p style="text-align: right;">テキスト案内有・1割引・送料有料</p>												

医療ソーシャルワーカー基幹研修 I Webライブ研修

開催	第35回 【第93回医療ソーシャルワーカー初任者講習会】 第36回 【第94回医療ソーシャルワーカー初任者講習会】 第37回 【第95回医療ソーシャルワーカー初任者講習会】								
目的	医療ソーシャルワーカーとして基礎的な知識・技術を取得することを目的とする。								
対象	2025年度～2026年度医療ソーシャルワーカー基幹研修I e-ラーニング終了者。								
内容	<p>【Webライブ研修】(番号はテキストに準拠) 各135分講義</p> <p>3. 医療ソーシャルワークの価値と倫理 I 7. 医療ソーシャルワーカーの連携・協働とチーム医療 I 11. 医療ソーシャルワークにおけるアセスメントの理論と方法 I</p> <p>事後課題 有</p> <p>※医療ソーシャルワーカー基幹研修I は e-ラーニング + Webライブ研修として研修を開催する。 ※e-ラーニング修了だけでは認定ポイントの付与はなく、Webライブを受講して修了した時点でポイント付与される。Webライブの受講資格は e-ラーニング終了後1年以内とする。 ※講義内容についてはテキストに準拠するので、テキスト購入は必須</p>								
開催方法	オンライン会議室 (Zoomミーティング) のWebライブ研修								
開催日	第35回 2026年 5月30日 (土) 9:10～18:00 第36回 2027年 1月23日 (土) 9:10～18:00 第37回 2027年 2月27日 (土) 9:10～18:00								
定員	<table border="1"> <tr> <td>100名</td> <td>履修ポイント</td> <td>48P</td> <td>担保したい力量</td> <td>① ② ③ ④ ⑥ ⑦</td> </tr> </table>	100名	履修ポイント	48P	担保したい力量	① ② ③ ④ ⑥ ⑦			
100名	履修ポイント	48P	担保したい力量	① ② ③ ④ ⑥ ⑦					
申込受付期間	第35回 2026年 3月 2日 (月) ～ 4月 5日 (日) 先着順 第36回 2026年10月13日 (火) ～ 11月15日 (日) 先着順 第37回 2026年11月16日 (月) ～ 12月20日 (日) 先着順								
受講費	<table border="1"> <tr> <td>当協会正会員・賛助会員 (個人) と都道府県協会個人会員の同時加入</td> <td>8,000円</td> </tr> <tr> <td>当協会正会員・賛助会員 (個人)</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>都道府県協のみ個人会員</td> <td>12,000円</td> </tr> <tr> <td>賛助会員 (団体)・非会員</td> <td>15,000円</td> </tr> </table>	当協会正会員・賛助会員 (個人) と都道府県協会個人会員の同時加入	8,000円	当協会正会員・賛助会員 (個人)	10,000円	都道府県協のみ個人会員	12,000円	賛助会員 (団体)・非会員	15,000円
当協会正会員・賛助会員 (個人) と都道府県協会個人会員の同時加入	8,000円								
当協会正会員・賛助会員 (個人)	10,000円								
都道府県協のみ個人会員	12,000円								
賛助会員 (団体)・非会員	15,000円								
テキスト	<p>中央法規『保健医療ソーシャルワークの知識と技術—キャリアアップのための実践力の構築—』 公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会編 2023年6月発行 定価3,300円 (税込、 本体3,000円) を使用。</p> <p>テキスト案内有・割引無・送料無料</p>								

医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱ

開 催	第33回		第34回	
目 的	実務経験3年を超えた保健医療分野のソーシャルワーカーが、標準的に行うべき業務を遂行できるよう、必要な知識、技術等を身につけ実践力を高めることを目的とする。			
対 象	保健医療分野のソーシャルワーカーの実務経験3年以上の現任者。 (当協会の医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰを修了していることが望ましい。)			
内 容	<p>【Webライブ研修】(番号はテキストに準拠) 各135分講義</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 医療ソーシャルワークの価値と倫理Ⅱ 4. 医療における「患者・家族」へのソーシャルワークⅡ 7. 医療ソーシャルワーカーの連携・協働とチーム医療Ⅱ 9. 医療ソーシャルワークで用いられる実践理論とアプローチⅡ 10. 医療ソーシャルワークにおける面接の方法と技術Ⅱ 11. 医療ソーシャルワークにおけるアセスメントの理論と方法Ⅱ 12. ソーシャルワーク記録Ⅱ 13. 医療ソーシャルワーク実践の事例検討の方法Ⅱ 14. ソーシャルワークのスーパービジョンⅡ 15. 医療ソーシャルワークの業務改善マネジメントⅡ 16. ソーシャルワーク・リサーチⅡ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>事前課題有 各セッション受講後課題提出</p> </div>			
開 催 方 法	オンライン会議室 (Zoomミーティング) のWebライブ研修			
開 催 日	2026年7月 4日(土)～ 5日(日)、 7月18日(土)～ 19日(日)		2026年10月 3日(土)～ 4日(日)、 10月17日(土)～ 18日(日)	
定 員	70名	履修ポイント	40P	
担保したい力量	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑨ ⑩ ⑪			
申込受付期間	2026年3月23日(月)～ 4月26日(日) 先着順		2026年6月22日(月)～ 7月26日(日) 先着順	
受 講 費	正会員・賛助会員(個人) 22,000円		賛助会員(団体)・非会員 42,000円	
テ キ ス ト	<p>中央法規『保健医療ソーシャルワークの知識と技術—キャリアアップのための実践力の構築—』 公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会編 2023年6月発行 定価3,300円(税込、 本体3,000円)を使用。</p> <div style="text-align: right; background-color: black; color: white; padding: 2px;"> <p>テキスト案内有・割引有・送料有料</p> </div>			

第22期 保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修 (医療ソーシャルワーカー基幹研修 Ⅲ)

認 証 済 研 修	認定社会福祉士認証・認定機構において認証済研修 認証番号：20190020 研修の名称：保健医療ソーシャルワーク専門研修 科目名：理論・アプローチ別科目（分野専門／医療分野／理論・アプローチ別科目群） 単位：1単位 認証番号：20190027 研修の名称：保健医療ソーシャルワーク専門研修 科目名：地域における生活支援（分野専門／医療分野／ソーシャルワーク機能別科目群） 単位：1単位				
目 的	保健医療分野で特化される力量を獲得し、他機関・他職種との連携が図れ、管理能力を有する熟達したソーシャルワーカーを養成することを目的とする。				
対 象	日本医療ソーシャルワーカー協会コース 社会福祉士の資格保有者であり、次のア～エのいずれかを満たしている者 日本社会福祉士会コース 日本社会福祉士会の正会員である都道府県社会福祉士会に所属している正会員（以下、都道府県社会福祉士会正会員）であって、次のア～エのいずれかを満たしている者 ア) 認定社会福祉士（医療分野）を取得していること イ) 認定医療社会福祉士を取得していること ウ) 保健医療分野における相談援助実務経験が5年以上であること （日本医療ソーシャルワーカー協会の専門講座または基幹研修Ⅱを修了していることが望ましい） エ) 日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎課程を修了していること （みなし修了者（日本社会福祉士会の旧生涯研修制度の適用対象者で共通研修課程修了申請を1回以上している者）を含む）				
内 容	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">通信</div>	1学期 <ul style="list-style-type: none"> ○保健医療分野におけるソーシャルワークの歴史 ○医療政策の動向とソーシャルワーク ○ソーシャルワークの倫理と意思決定支援 ○ダイレクトソーシャルワーク実践におけるアセスメント 基礎 	2学期 <ul style="list-style-type: none"> ○ダイレクトソーシャルワーク実践におけるアセスメント 応用 ○ソーシャルワーカー組織のチームビルドとマネジメント ○域に展開する保健医療ソーシャルワーク -メソレベルを起点とした連携実践 ○ソーシャルワーク実践の評価 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">スクーリング</div>	【講義】 トピックス 【演習】 習を通して、次の事項について修得します。 ①価値、倫理、権利の理解 ②多職種連携・地域連携 ③家族支援の理論と実際 ④アセスメント能力・技術 ⑤組織内チームビルドと資源化 ⑥精神保健領域における地域生活支援 ⑦実践研究能力（記録、評価）
研 修 期 間	2026年4月～ 2027年3月（1年間）				
ス ク ー リ ン グ	2027年1月31日（日）、2月7日（日）、2月14日（日）				
定 員	50名	履 修 ポ イ ン ト	60P	担 保 し た い 力 量	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪
申 込 受 付 期 間	2026年1月13日（火）～ 3月1日（日） 先着順				
受 講 費	都道府県社会福祉士会正会員・日本医療ソーシャルワーカー協会正会員・賛助会員（個人） 通信教育費用 20,000円 スクーリング費用 30,000円 日本医療ソーシャルワーカー協会賛助会員（団体）・非会員 通信教育費用 30,000円 スクーリング費用 45,000円				
テ キ ス ト	中央法規『保健医療ソーシャルワーク -アドバンスト実践のために-』公益社団法人日本医療社会福祉協会、公益社団法人日本社会福祉士会編 2017年6月2日発行 定価3,700円＋税 を使用。 <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; display: inline-block;">テキスト案内・割引有・送料有料</div>				

実習指導者養成認定研修

開 催	第44回	第45回
目 的	社会福祉専門職の養成教育において、重要過程である実習現場での実習時に、有効な指導ができるように、現場のソーシャルワーカーを現場の実習指導スーパーバイザーとして養成することを目的とする。	
対 象	実習生の指導方法に悩まれている方や今まで実習指導を行ったことのない保健医療分野のソーシャルワーカーの現任者。	
内 容	1. 実習指導概論 2. 実習マネジメント 1 3. 実習マネジメント 2 4. 実習プログラミング 1 5. 実習プログラミング 2 6. 実習評価 7. 人の尊厳 8. 実習スーパービジョン 1 9. 実習スーパービジョン 2 10. 実習スーパーバイザー会議 1 11. 実習スーパーバイザー会議 2 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">事前課題および事後課題 有</div> ※テキストを精読し、ご持参ください。	
開 催 方 法	オンライン会議室 (Zoom ミーティング) のWebライブ研修	
開 催 日	2026年10月10日(土)～10月12日(月)	2026年11月21日(土)～11月23日(月)
定 員	50名	履 修 ポ イ ン ト 30P
担保したい力量	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪	
申込受付期間	2026年6月29日(月)～8月2日(日) 先着順	2026年8月10日(月)～9月13日(日) 先着順
受 講 費	正会員・賛助会員(個人) 15,000円	賛助会員(団体)・非会員 30,000円
テ キ ス ト	勁草書房『介護・福祉の支援人材養成開発論: 尊厳・自律・リーダーシップの原則』日本医療社会福祉協会【監修】/福山和女/田中千枝子【責任編集】【第2版】2025年3月10日発行 定価2,200円+税を使用。 <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; display: inline-block;">テキスト案内無</div>	

人材開発・養成講座

目 的	ソーシャルワークの専門性を踏まえた、人材育成・人材養成・人材開発の方法論を身に着けることを目的とする。		
対 象	現任のソーシャルワーカー。		
内 容	<p>育成・養成・開発の対象の人材は実習生から新人、そして新任スタッフと多様であり、それぞれに対するマネジメント、プログラミング、スーパービジョン、評価の方法を、主に人材に関するFK理論・Aカデューシンのスーパービジョン論をもとに演習を通じて考え、身に着けることを目的とする。</p> <p>【Webライブ研修】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人材養成概論 2. マネジメントの実際 3. プログラミングの実際 4. スーパービジョンの実際 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 10px;">事前課題 有</div> ※テキストを精読し、ご持参ください。		
開 催 方 法	オンライン会議室 (Zoom ミーティング) のWebライブ研修		
開 催 日	2027年2月6日 (土) 9:50 ~ 16:30		
定 員	40名	履 修 ポ イ ン ト	8P
担保したい力量	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪		
申込受付期間	2026年10月26日 (月) ~ 11月29日 (日) 先着順		
受 講 費	正会員・賛助会員 (個人) 8,000円 賛助会員 (団体)・非会員 16,000円		
テ キ ス ト	<p>勁草書房『介護・福祉の支援人材養成開発論: 尊厳・自律・リーダーシップの原則』日本医療社会福祉協会【監修】/福山和女/田中千枝子【責任編集】【第2版】2025年3月10日発行 定価2,200円+税を使用。</p> <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; display: inline-block;">テキスト案内無</div>		

スーパーバイザー養成認定研修

【当協会推薦『認定社会福祉士認証・認定機構登録スーパーバイザー』要件研修】

開 催	第26回		第27回	
認 証 済 研 修	認定社会福祉士認証・認定機構において認証済研修 認証番号：20130072 研修の名称：スーパーバイザー養成認定研修 科目名：人材育成系科目I（共通専門／サービス管理・人材育成・経営系科目群I）単位：1単位			
目 的	保健医療ソーシャルワークサービスの充実、および質の向上を図るため、現在および将来のスーパーバイザーを養成することを目的とする。			
対 象	1)～4)のいずれか1つを満たしている者。 1) 当協会の認定医療ソーシャルワーカー登録者。 2) 実習指導者養成認定研修修了者。 3) ソーシャルワークスキルアップ研修 スーパービジョン研修受講者。 4) 保健医療分野の現任者で組織の承諾が得られる者。			
内 容	【Webライブ研修】 1. オリエンテーション 2. スーパービジョン体制の枠組み、歴史的影響 3. 包括的スーパービジョンモデルの提示 4. スーパービジョントレーニングシステムの理解とダイナミクス 5. 組織におけるスーパービジョン体制の意義と必要性 6. スーパービジョンの方法論 7. スーパービジョンの様式・形態・課題 8. スーパービジョンにおける倫理的配慮 9. スーパービジョンの効果的実践 10. スーパービジョンモデルの計画 11. まとめ 講義と演習を織り交ぜた研修です <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">事前課題および事後課題 有</div> ※テキストを精読の上で参加ください。			
開 催 方 法	オンライン会議室（Zoom ミーティング）のWebライブ研修			
開 催 日	2026年9月26日（土）9：50～17：00、 9月27日（日）9：50～17：00		2027年1月24日（日）9：50～17：00、 1月30日（土）9：50～17：00	
定 員	25名	履 修 ポ イ ン ト	20P	
担保したい力量	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪			
申 込 受 付 期 間	2026年6月8日（月）～7月12日（日） （申込多数の場合は会員と受講歴のない方を優先し選考といたします）		2026年10月13日（火）～11月15日（日） （申込多数の場合は会員と受講歴のない方を優先し選考といたします）	
受 講 費	正会員・賛助会員（個人） 15,000円		賛助会員（団体）・非会員 30,000円	
テ キ ス ト	ミネルヴァ書房『保健・医療・福祉専門職のためのスーパービジョン 支援の質を高める手法の理論と実際』福山和女／編著 渡部律子／編著 小原真知子／編著 浅野正嗣／編著 佐原まち子／編著 2018年7月1日発行 定価4,400円（税込）を使用。 <div style="text-align: right; background-color: black; color: white; padding: 2px;">テキスト案内 無</div>			

認定社会福祉士認証・認定機構スーパービジョン説明会

開 催	第18回	第19回
目 的	認定社会福祉士認証・認定機構（以下「機構」と略す）が認定する「認定社会福祉士」においては、職場内外において継続的にスーパービジョンを受けることが認定の申請要件の一つとなっています。スーパーバイザーの要件やスーパービジョンの手順及び使用する様式等については、「スーパービジョン実施要綱」で規定されており、本説明会はそれら要件や規定等について説明するためのものです。 また本説明会に参加することは、「スーパーバイザー」として機構に登録申請を行う際の要件の一つとなっています。	
対 象	認定社会福祉士認証・認定機構のスーパーバイザー登録区分、第3号、第4号(1)～(3)でのスーパーバイザー登録申請者、および登録申請予定者 ※登録申請区分についての詳細は、認定社会福祉士認証・認定機構ホームページ参照	
内 容	【Webライブ説明会】 1. 「スーパービジョン説明会の主旨と課題」 2. 認定社会福祉士制度におけるスーパービジョンの説明 3. スーパービジョンの実施報告・質疑	
開 催 方 法	オンライン会議室（Zoom ミーティング）のWebライブ説明会	
開 催 日	2026年9月13日（日）9：50～12：30	2027年3月14日（日）9：50～12：30
定 員	30名	
申込受付期間	2026年8月10日（月）～9月6日（日） 先着順	2027年2月8日（月）～3月7日（日） 先着順
受 講 費	無 料	

認定社会福祉士認証・認定機構スーパーバイザー登録推進研修

開 催	第11回	第12回
目 的	スーパービジョンは保健医療分野ソーシャルワーカーの訓練においては不可欠なものである。本研修では、スーパービジョンの原理を学習し、スーパーバイザー経験を言語化することを目的とする。	
対 象	1) の要件を満たし、かつ、2) または 3) の相談実務経験があること。 1) 当協会スーパーバイザー養成認定研修を修了または、本年度スーパーバイザー養成認定研修を修了見込みの正会員・賛助会員（個人）。 2) 社会福祉士資格取得後10年以上の相談実務経験があること。 3) 福祉施設・機関の職員であって7年以上の相談実務経験があること。 ※3) は社会福祉士資格を有さない方の場合であっても可。	
内 容	認定社会福祉士認証・認定機構スーパーバイザー登録に向けて、スーパーバイザー経験を言語化し、スーパーバイザー登録に必要な申請書類の記載の際の留意点の指導を行います。	
開 催 方 法	オンライン会議室（Zoom ミーティング）のWebライブ研修	
開 催 日	2026年9月13日（日）13：20～16：00 （16：00～17：00に、希望者のみへの質疑応答時間を設けます）	2027年3月14日（日）13：20～16：00 （16：00～17：00に、希望者のみへの質疑応答時間を設けます）
定 員	30名	
申込受付期間	2026年8月10日（月）～9月6日（日） 先着順	2027年2月8日（月）～3月7日（日） 先着順
受 講 費	無 料	

グループスーパービジョン体験研修

開 催	第7回		第8回	
目 的	<p>認定社会福祉士認証・認定機構（以下、機構）のSV単位に、グループスーパービジョン（以下、GSV）が認められ、機構が認めるGSVを行う、受けることでスーパービジョン（以下、SV）実績2単位となる。保健医療分野では、ソーシャルワーク部門内や法人内に複数のソーシャルワーカーが在籍する所属機関や、都道府県協会等において、GSVを行うことをもめる。GSVの理解を深め、推進する為に、GSVの理論を学び、GSVを「する」「受ける」体験演習を通して、組織または地域で、GSVを展開することを目指す。</p>			
対 象	<p>1)～2)のいずれか1つを満たしている者。</p> <p>1) 認定社会福祉士認証・認定機構に登録スーパーバイザー（区分は問いません）もしくはこれから登録しようとしている方</p> <p>2) 組織内外でグループスーパービジョンの実施を計画されている方で、社会福祉士資格取得後7年以上の相談実務経験がある方</p> <p>※現任の保健医療分野のソーシャルワーカーが望ましい。</p>			
内 容	<p>認定社会福祉士認証・認定機構 認定社会福祉士制度スーパービジョン実施マニュアルの規程に沿った、グループスーパービジョン（GSV）について学ぶ</p> <p>【プログラム】（予定）</p> <ol style="list-style-type: none"> GSVの理論 機構制度下におけるGSVの実施の方法と手順 グループスーパービジョンを「受ける」「する」体験演習 <p>参考図書や参考動画視聴などの事前課題 有</p>			
開 催 日	2026年8月22日（土）～8月23日（日） 両日 9:50～15:00		2026年11月7日（土）～11月8日（日） 両日 9:50～15:00	
開 催 方 法	オンライン会議室（Zoom ミーティング）のWebライブ研修			
定 員	12名	履 修 ポ イ ン ト	12P	
担保したい力量	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩			
申込受付期間	2026年5月11日（月）～6月14日（日） （申込多数の場合は会員および現任者を優先し選考といたします）		2026年7月27日（月）～8月30日（日） （申込多数の場合は会員および現任者を優先し選考といたします）	
受 講 費	正会員・賛助会員（個人） 13,000円		賛助会員（団体）・非会員 26,000円	

スーパーバイザーのためのサポート講座

目的	認定社会福祉士認証・認定機構の登録スーパーバイザーや、所属機関でスーパービジョンを実施する立場のソーシャルワーカーが、スーパービジョン体制の稼働についての効用および影響性を検討する。		
対象	1)～4)のいずれか1つを満たしている者 1) 当協会主催のスーパーバイザー養成認定研修修了者 2) 認定社会福祉士認証・認定機構のスーパーバイザー登録者 3) 当協会の認定医療ソーシャルワーカー登録者 4) 認定社会福祉士認証・認定機構の認定社会福祉士（医療分野）登録者		
内容	1) スーパービジョンにおけるプログラミングの活用 2) 発達段階モデルの活用 上述のトレーニングにおいては、危機理論による問題解決や課題達成モデルなどを適用しバイオ・サイコ・ソーシャルモデルを中心に実践する。 なお、グループSV・個人SV・ユニットSVを組み合わせるロールプレイを実施する。		
開催方法	オンライン会議室（Zoomミーティング）のWebライブ研修		
開催日	2026年10月24日（土） 9：50～15：00、10月25日（日） 9：50～15：00		
定員	30名	履修ポイント	10P
担保したい力量	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪		
申込受付期間	2026年7月13日（月）～8月16日（日） 先着順		
受講費	正会員・賛助会員（個人） 10,000円 賛助会員（団体）・非会員 20,000円		

ソーシャルワーク スキルアップ研修 「スーパービジョン」

目的	スーパービジョンは保健医療分野で支援を行うソーシャルワーカーの成長においては不可欠なものである。本研修では、スーパービジョンの原理や基礎等を学習し、実際の方法について、体験を通してソーシャルワーカーの気づきを深めることを目的とする。 講師による講義に加え、演習やグループワークを用い、理論と実践の理解を図る。		
対象	スーパービジョンについて学びたい保健医療分野のソーシャルワーカー。		
内容	【Webライブ研修】 1. ソーシャルワーク実践上の悩み 2. スーパービジョンの定義、構造、機能、形態 3. 支持的スーパービジョンの意義と方法 4. スーパービジョン関係の構築 5. スーパービジョンの倫理と留意点		
開催方法	オンライン会議室（Zoomミーティング）のライブ研修		
開催日	2026年6月28日（日） 9：50～16：30		
定員	50名	履修ポイント	7P
担保したい力量	① ② ③ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩		
申込受付期間	2026年3月16日（月）～4月19日（日） 先着順		
受講費	正会員・賛助会員（個人） 8,000円 賛助会員（団体）・非会員 16,000円		

ソーシャルワーク スキルアップ研修 「ISTT(統合的短期型支援)研修－理論トレーニングⅠ(基礎理論)－」

目的	近年の保健医療福祉に見る機能分化した環境は、ワーカー・クライアント関係に留まらずシステムを視野に入れた短期間、あるいは計画的な支援をソーシャルワーカーに養成しています。本研修では、ソーシャルワーク諸理論を統合的に活用する統合的短期型支援(ISTT)と面接技法の演習を通して、より効果的で効率的な支援方法を学ぶことを目的としています。また理論トレーニングとして2系統(基礎理論、BPS理論)の理論モデルを用いた研修を開催致します。※25名の少人数体制で行います。※理論トレーニングⅠ・Ⅱは別々の研修になります。				
対象	実務経験3年以上の現任の保健医療分野のソーシャルワーカーが望ましい。				
内容	【Webライブ研修】 1. ソーシャルワーク理論とISTT 2. ソーシャルワーク援助に必要なISTT理論のエッセンス 3. ISTTと諸理論 4. 事例から考えるISTT・諸理論 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">事前課題 有</div>				
開催方法	オンライン会議室 (Zoomミーティング) のWebライブ研修				
開催日	2026年11月29日(日) 9:50～16:30				
定員	25名	履修ポイント	9P	担保したい力量	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪
申込受付期間	2026年8月10日(月)～9月13日(日) 先着順				
受講費	正会員・賛助会員(個人) 8,000円 賛助会員(団体)・非会員 16,000円				
テキスト	『統合的短期型ソーシャルワーカー ISTTの理論と実践』エダ・ゴールドシュタイン、メアリーエレン・ヌーナン(著) 福山和女(翻訳) 金剛出版(2014.6) 定価5,060円(税込) (金剛出版より直接取り寄せも可能・参考テキストは必須ではありません)				

ソーシャルワーク スキルアップ研修 「ISTT(統合的短期型支援)研修－理論トレーニングⅡ(BPS理論)－」

目的	近年の保健医療福祉に見る機能分化した環境は、ワーカー・クライアント関係に留まらずシステムを視野に入れた短期間、あるいは計画的な支援をソーシャルワーカーに養成しています。本研修では、ソーシャルワーク諸理論を統合的に活用する統合的短期型支援(ISTT)と面接技法の演習を通して、より効果的で効率的な支援方法を学ぶことを目的としています。また理論トレーニングとして2系統(基礎理論、BPS理論)の理論モデルを用いた研修を開催致します。※25名の少人数体制で行います。※理論トレーニングⅠ・Ⅱは別々の研修になります。				
対象	実務経験3年以上の現任の保健医療分野のソーシャルワーカーが望ましい。				
内容	【Webライブ研修】 1. ソーシャルワーク理論とISTT 2. ソーシャルワーク援助に必要なISTT理論のエッセンス 3. ISTTとBPS理論 4. 事例から考えるISTT・BPS理論 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">事前課題 有</div>				
開催方法	オンライン会議室 (Zoom ミーティング) のWebライブ研修				
開催日	2026年12月13日(日) 9:50～16:30				
定員	25名	履修ポイント	9P	担保したい力量	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪
申込受付期間	2026年9月7日(月)～10月4日(日) 先着順				
受講費	正会員・賛助会員(個人) 8,000円 賛助会員(団体)・非会員 16,000円				
テキスト	『統合的短期型ソーシャルワーカー ISTTの理論と実践』エダ・ゴールドシュタイン、メアリーエレン・ヌーナン(著) 福山和女(翻訳) 金剛出版(2014.6) 定価5,060円(税込) (金剛出版より直接取り寄せも可能・参考テキストは必須ではありません)				

ソーシャルワーク スキルアップ研修 「面接技術 ～ソリューション・フォーカスト・アプローチ～」

目 的	面接技術を向上させることにより、短時間に適切なアセスメントにつながる情報収集やクライアントとの関係性の構築が可能となることが目標です。そのために手法の一つとしてSFAの技術を学ぶことを目的にしている研修です。				
対 象	実務経験3年以上の現任の保健医療分野のソーシャルワーカーが望ましい。 ※受講要件：全3回受講できること。				
内 容	<p>【第1回】 テーマ：「エンゲージメント段階のスキルと情報収集段階のスキルとしてのSFAの質問の型を学ぶ」 第1回では、相談援助の面接構造について理解する。エンゲージメント段階のスキルやSFAの質問の型を講義で学び、実際に考え実践する演習を行う。</p> <p>【第2回】【第3回】 テーマ：「SFAを援用して情報収集、そしてアセスメント・プランニングを行う」 第2回と第3回では、事例をもとにSFAの質問の型を用いた情報収集を行い、アセスメント・プランニングまでを演習する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>事前課題・研修期間中課題・事後課題 有</p> </div>				
開 催 方 法	オンライン会議室（Zoomミーティング）のWebライブ研修、集合研修				
開 催 日	①2026年8月 1日（土）（Webライブ研修） ②2026年9月12日（土）～9月13日（日）（集合研修）				
集 合 研 修 会 場	ビジョンセンター田町（東京都港区芝5-31-19 ラウンドクロス田町4F）				
定 員	50名	履 修 ポ イ ン ト	21P	担保したい力量	① ③ ⑩
申 込 受 付 期 間	2026年4月20日（月）～5月24日（日） 先着順				
全3回 受 講 費	正会員・賛助会員（個人） 21,000円		賛助会員（団体）・非会員 42,000円		

ソーシャルワーク スキルアップ研修 「入退院支援専門ソーシャルワーク研修」

開 催	東京会場	福岡会場
目 的	<p>地域包括ケア体制下で、急性期病院をはじめ保健医療分野のソーシャルワーカーは、以前にも増して退院支援に多くの時間を取られ、従来とは性質の異なる多くの課題を抱えている現状にある。われわれソーシャルワーカーは、その原理や原則を踏まえつつ、より積極的にこの事態を克服して、新たな医療ソーシャルワーカーによる入退院支援を体系化・理論化することが重要である。そのため自らの実践を振り返りつつ、新たな時代の入退院支援を考え、学ぶことを目的とする。</p>	
対 象	<p>申込時点で入退院支援ソーシャルワークの実践者。</p>	
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講演 入退院支援の概観と新たな課題 ～マクロ・メゾ・ミクロを見渡す～ 2. 講義 医療ソーシャルワーカーに望む入退院支援 ～在宅医療の現場から～ 3. 講義 ソーシャルワーカーと他職種の協働による入退院支援（仮題） 4. 講義 MSWの地域連携 ～地域包括ケアシステムと入退院体制の一体的運用～ 5. 講義 入退院支援におけるSWアセスメントの重要性 ～アセスメントツールとしてのエコマップの活用～ 6. グループワーク <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>事前課題および事後課題 有</p> </div>	
開 催 日	2026年9月5日（土）～9月6日（日）	2027年2月20日（土）～2月21日（日）
集 合 研 修 会 場	KFC Rooms （東京都墨田区横網1丁目6番1号）	リファレンス駅東ビル貸会議室 （福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目16-14）
定 員	50名	履 修 ポ イ ン ト 20P
担保したい力量	① ② ③ ④ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
申 込 受 付 期 間	2026年5月25日（月）～6月28日（日） 先着順	2026年11月9日（月）～12月13日（日） 先着順
受 講 費	正会員・賛助会員（個人） 15,000円	賛助会員（団体）・非会員 30,000円

ソーシャルワーク スキルアップ研修 「周産期・小児ソーシャルワーク研修」

認 証 済 研 修	認定社会福祉士認証・認定機構において認証済研修 認証番号：20240009 研修の名称：周産期・小児ソーシャルワーク研修 科目名：対象者別科目（分野専門／医療分野／対象者別科目群） 単位：1単位				
目 的	周産期およびそれに続く小児ソーシャルワークは、個人及び家族にとってライフサイクル上の重要な時期の生活を支えることになり、生活者の生活課題を予測しストレスを支えるソーシャルワークの力を発揮することが求められる。急性期医療を要する時期における集中的な支援のみならず、成長発達する子どもを地域の諸機関と共にチームで支えていく視点も必要である。 講義では周産期・小児ソーシャルワークに関わる基本的考え方と知識を、演習では実践力を高めるため『ソーシャルワーク実践モデル：援助手続きの枠組み』への記載とグループスーパービジョンを通して、ソーシャルワーカーの思考過程を身につけることを目的とする。				
対 象	医療分野の周産期・小児領域で実践中および今後1年以内に関わる予定のあるソーシャルワーカー。 （過去に本研修を受けた方や、『ソーシャルワーク実践モデル：援助手続きの枠組み』に関する講義・演習を受けた方はふるって受講してください。）				
内 容	【オンデマンド視聴】 1. 講義 実践力・実践モデル概論 2. 講義 実践モデル入門編 3. 講義 周産期・小児領域における心理社会的状況と生活課題 4. 講義 MSW介入システムと院内連携・地域連携 【Webライブ研修】 5. 講義 周産期・小児ソーシャルワーク概論 6. 講義 実践モデル応用編 7. 講義 「こどもたちの死にたい気持ちに触れるということ」※ 8. 講義 医療機関における児童虐待の予防と対応 9. 講義 周産期・小児領域を含む倫理的考え方の基本 10. 演習 実践モデルに沿った援助 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 事前アンケート・事前オンデマンド視聴後課題・事後レポート 有 </div> ※ 講義7のみ当協会CFSW指定研修修了者はフォローアップ研修として聴講可能				
開 催 方 法	事前オンデマンド視聴およびオンライン会議室（Zoomミーティング）のWebライブ研修				
開 催 日	オンデマンド視聴 ①2026年5月11日（月）～6月30日（火） Webライブ研修 ②2026年7月25日（土）～7月26日（日）				
定 員	40名	履 修 ポ イ ン ト	20P	担保したい力量	① ② ③
申 込 受 付 期 間	2026年3月2日（月）～4月5日（日） 先着順				
受 講 費	正会員・賛助会員（個人） 15,000円 賛助会員（団体）・非会員 30,000円				

ソーシャルワーク スキルアップ研修 「ソーシャルワークにおける就労支援」

目 的	<p>がん患者への「仕事と治療の両立支援」は、平成30年に診療報酬算定が可能となり、以降、脳血管疾患、肝疾患、指定難病、心疾患、糖尿病、若年性認知症にその範囲を広げてきた。従来医療ソーシャルワーカーは、復職を含む就労支援を行ってきたが、その知識・技術を更に向上させる必要がある。本研修では、就労の意義・現状・課題、両立支援の政策的動向、対象患者の状況（疾病・障害・環境）などを理解する。また、当事者・雇用側の立場から支援者への期待などを含め語っていただく研修も盛り込む。「治療と仕事の両立支援（復職支援）」を含む就労支援について、学び深めることを目的とする。</p>				
対 象	保健医療分野における現任のソーシャルワーカー実践者。				
内 容	<p>講義と演習（予定）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義 就労支援と両立支援（視聴20分） 2. 講義 就労の意義・現状・課題（視聴60分） 3. 講義 両立支援の政策的動向（視聴50分） 4. 講義 産業医の役割（視聴60分） 5. 講義 労務管理（視聴 30分） 6. 講義 就労支援機関の役割（視聴 30分） 7. 講義 産業保健総合支援センターの役割（視聴 30分） 8. 講義 就労支援の実際と社会資源（視聴100分） 9. 講義 当事者の立場から就労支援を考える（視聴60分） 10. 講義 雇用者の立場から就労支援を考える（視聴60分） 11. 演習 就労支援に関する問題を考える Webライブ研修（150分） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;">事後課題 有</div>				
開 催 方 法	事前オンデマンド視聴およびオンライン会議室（Zoomミーティング）のWebライブ研修				
開 催 日	<p>オンデマンド視聴 ①2026年11月 1日（日）～11月30日（月） Webライブ研修 ②2026年12月12日（土） 9:50～12:30</p>				
定 員	60名	履 修 ポ イ ン ト	14P	担保したい力量	① ④ ⑥ ⑦
申込受付期間	2026年7月21日（火）～8月23日（日） 先着順				
受 講 費	正会員・賛助会員（個人） 8,000円 賛助会員（団体）・非会員 16,000円				

ソーシャルワーク スキルアップ研修 「ソーシャルワークにおける臨床倫理」

目 的	<p>ソーシャルワーカーにとって「クライアントの自己決定を支援する」ことの重要性は論を待たない。しかし選択の局面は、クライアント自身が意思表示出困難、選択に制限が生じる状況、様々な要因の絡み合いなど「自己決定を支援する」ことが、容易ではないことは少なくない。そうした状況を臨床倫理の視点で捉え、ソーシャルワーク実践における臨床倫理について考えることを目的とする。</p>				
対 象	<p>ソーシャルワーク実践を行っているソーシャルワーカー。</p>				
内 容	<p>【事前学習】</p> <p>1. 臨床倫理シートの記載と活用（講義動画）</p> <p>【事前課題】</p> <p>講義を踏まえて、臨床倫理シートを記載する</p> <p>【集合研修】</p> <p>1. 臨床倫理の基本 2. 臨床倫理に基づく相談支援 3. 講義と演習 臨床倫理シートを用いた事例検討 4. ディスカッション</p> <p>講師</p> <p>東北大学・名誉教授・臨床倫理ネットワーク日本／代表 清水 哲郎 氏 東京大学・大学院人文社会系研究科・死生学 応用倫理センター／特任教授 会田 薫子 氏</p> <p>コーディネーター／一般社団法人WITH医療福祉実践研究所 田村 里子 氏</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">事前学習後課題 有</div>				
開 催 方 法	<p>事前学習および集合研修</p>				
開 催 日	<p>事前学習 ①2026年11月16日(月)～12月13日(日) 集合研修 ②2027年 1月17日(日) 10:00～16:30</p>				
集 合 研 修 会 場	<p>KFC Rooms (東京都墨田区横網1丁目6番1号)</p>				
定 員	70名	履 修 ポ イ ン ト	7P	担 保 し た い 力 量	① ③ ④ ⑧
申 込 受 付 期 間	<p>2026年8月10日(月)～9月13日(日) 先着順</p>				
受 講 費	<p>正会員・賛助会員(個人) 8,000円 賛助会員(団体)・非会員 16,000円</p>				

ソーシャルワーク スキルアップ研修 「認知症がある方へのソーシャルワーク支援」

目的	近年、物忘れ外来や認知症疾患医療センターなどが医療機関に設置され、保健医療分野のソーシャルワーカーが関わり、治療の継続や選択の局面、地域での生活支援など、専門診療科以外でも多くのソーシャルワーカーが関わっている。人権に基づく相談援助を専門職として、権利擁護や成年後見などの法的な枠組みを含めたソーシャルワーク支援を学ぶことを目的とする。				
対象	保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っているソーシャルワーカー。				
内容	【オンデマンド視聴】 1. ソーシャルワークと権利擁護 (70分) 2. 認知症が疑われる方に対する受診・治療援助 (60分)		【Webライブ研修】 3. 認知症の基本的な知識 4. 認知症がある方へのソーシャルワーク支援		
開催方法	事前オンデマンド視聴およびオンライン会議室 (Zoomミーティング) のWebライブ研修				
開催日	【オンデマンド視聴】 ①2026年10月13日 (火)～11月8日 (日) 【Webライブ研修】 ②2026年11月15日 (日) 9:50～16:00				
定員	45名	履修ポイント	8P	担保したい力量	① ② ③ ④
申込受付期間	2026年7月6日 (月)～8月9日 (日) 先着順				
受講費	正会員・賛助会員 (個人) 8,000円 賛助会員 (団体)・非会員 16,000円				

ソーシャルワーク スキルアップ研修 「医療機関におけるソーシャルアクション」

目的	ソーシャルワーカーは地域で暮らす人々に寄り添い、療養中に生じる生活課題を共に考える役割として取り組んできました。医療経営、組織の社会貢献など、ソーシャルワーカーが自覚する業務領域は広がりを見せています。地域共生社会の実現に向けて、ミクロレベルのソーシャルワークを根底に、メゾマクロのソーシャルワークの力を発揮するため、組織や地域をアセスメントし、複雑的な課題への対応について講義と演習を通して学ぶことを目的とする。				
対象	実務経験3年以上の現任の保健医療分野のソーシャルワーカーが望ましい。				
内容	【Webライブ研修】 1. 講義 小さな診療所のソーシャルアクション ～書を捨てて、地域に飛び出そう～ 2. 実践事例の紹介とグループワーク 講師 日本社会事業大学専門職大学院 教授/つるかめ診療所 副所長 鶴岡 浩樹 氏				
開催方法	オンライン会議室 (Zoomミーティング) のWebライブ研修				
開催日	2026年5月24日 (日) 12:50～16:00				
定員	50名	履修ポイント	4P	担保したい力量	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
申込受付期間	2026年2月16日 (月)～3月22日 (日) 先着順				
受講費	正会員・賛助会員 (個人) 5,000円 賛助会員 (団体)・非会員 10,000円				

人生の最終段階における意思決定支援研修会

目 的	人生の最終段階の意思決定の場面において、医学的適応だけではなく、その方が今後の人生をどのように生きたいか、どのように過ごしたいかの相談支援もふくまれる。さらに令和6年度診療報酬改定にて意志決定に関する指針を作成することを要件とする入院料等の対象が見直され、各医療機関での対応も求められている。合意形成に向けたチーム医療の実現とクライアントにどのように向き合い支援をするかを学び、実践力を高めることを目的とする。		
対 象	医師、看護師、医療ソーシャルワーカー等。		
内 容	<p>【オンデマンド視聴】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅医療及び医療・介護連携について 2. アドバンス・ケア・プランニング (ACP) ～意思決定の支援 3. ACPとSDMの取り組み 4. 意思決定に関する法的知識 5. アドバンス・ケア・プランニングの地域への展開について 6. 診療報酬改定における取り組み～地域連携 7. 身寄りがいない方へ人生の最終段階への支援 8. 在宅医療における意志決定支援 9. 小児分野における意志決定支援 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">事後課題 有</p>		
開 催 日	2026年12月1日 (火)～2027年1月31日 (日)		
開 催 方 法	ネットレコーダー・ソリューションズ株式会社の動画配信システムMOPSのオンデマンド視聴		
定 員	500名	履 修 ポ イ ン ト	18P
担保したい力量	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩		
申込受付期間	2026年8月31日 (月)～10月18日 (日) 先着順		
受 講 費	正会員・賛助会員 (個人) 10,000円	賛助会員 (団体)・非会員	20,000円

身元保証人問題へのソーシャルワーク

開 催	基礎編	実践編	基礎編・実践編	
目 的	一般医療機関のソーシャルワーカーが、身寄りのないと言われる患者を支援する際に必要な基礎知識（支援する目的、必要な法的知識、実際の各地での実践等）を身につけてもらい、個別支援だけでなく、院内及び地域での支援ネットワークに参加しやすくなることを目的とする。			
対 象	保健医療分野のソーシャルワーカー（会員資格問わず、過去に本研修を受けた方も申込み可）。			
内 容	<p>【基礎編】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療ソーシャルワーカーが保証人問題に取り組む意義 2. 医療ソーシャルワーカーに求められる3つの視点 3. 医療機関における保証人問題の課題 4. 保証人問題と医療同意 5. 保証人問題と民法・社会福祉法の改正（成年後見制度改正関連） <p>【実践編】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 身寄りがない患者を取り巻く社会的課題に関する全国調査結果（林祐介講師） 2. 医療ソーシャルワーカーのメゾレベルの実践／組織内と地域での取り組みの視点： 3. 医療費支払いの仕組み、入院申込書式の検討 4. 臨床倫理委員会での医療ソーシャルワーカーの役割 5. 新制度や高齢者等終身サポート事業等を視野に入れた院内支援体制づくり 6. 急変死亡時の対応・死亡届 7. 地域におけるネットワークの重要性 8. 医療機関における地域とのネットワーク事例 9. 施設の中での身元保証人問題 10. 地域包括ケアシステム・重層型支援という施策の中で、これらをMSWがうまく活用する視点・推進する視点 			
開 催 方 法	ネットレコーダー・ソリューションズ株式会社の動画配信システムMOPSのオンデマンド視聴			
開 催 日	2026年11月2日（月）～ 2027年1月11日（月）			
定 員	300名	履 修 ポ イ ン ト	【基礎編】 2P 【実践編】 3P 【基礎編・実践編】 5P	
担保したい力量	④ ⑥ ⑦			
申込受付期間	2026年7月27日（月）～ 8月30日（日） 先着順			
受 講 費	【基礎編】 正会員・賛助会員（個人） 5,000円 【実践編】 正会員・賛助会員（個人） 10,000円 【基礎編・実践編】 正会員・賛助会員（個人） 12,000円	賛助会員（団体）・非会員 10,000円 賛助会員（団体）・非会員 20,000円 賛助会員（団体）・非会員 24,000円		

一般医療機関における依存症リカバリーソーシャルワーク研修 MSWが知っておくべき依存症と家族支援【第1回】(集合研修)

目 的	<p>一般医療機関における依存症の「治療ギャップ」「相談支援の繋がりにくさ」「偏見・差別」等の解消に向け、ミクロ(本人・家族)・メゾ(地域)・マクロ(制度、政策等)レベルまでを範疇とする効果的で実践できるMSWの依存症支援の実践力を高めることを目的とする。</p> <p>治療ギャップの解消に向けた九州地域のMSWによる先進的な取り組みをしている地域(リージョナル)の事例から学ぶ(昨年度は、東北地域と関西地域の事例を扱った)。</p>				
対 象	<p>一般医療機関のソーシャルワーカー (MSW)・地域包括支援センターのソーシャルワーカー等。</p>				
内 容	<p>先進事例：ミクロ・メゾ・マクロレベル(九州地域における取り組み)</p> <p>【オンデマンド視聴】(1.5時間程度)</p> <p>講義：MSWが押さえておくべき依存症と家族支援の基盤 本編への導入として、MSWが現場で直面する依存症の病態理解と、家族支援の基本的なフレームワークを学習する。</p> <p>【第1回目：集合研修】(6時間30分程度)</p> <p>第1回目は集合研修で「対面形式」を実施。</p> <p>1. アルコール依存症回復支援の実際：地域(リージョナル)事例検討 テーマ：治療ギャップの解消に向けた先進的アプローチ 内 容：領域横断的な介入事例(内科、救急、肝移植、児童虐待、がん相談、被災地支援、支援者のバーンアウト対策など)から、開催地域において治療ギャップ解消を実現している具体的な事例を精査・検討する。</p> <p>2. リカバリー・ナラティブ(回復者の語り) 対 象：開催地域で活動する断酒会・家族会等の自助グループメンバー。 実施の狙いと根拠： 地域連携の深化：地域の自助グループと直接連携し、顔の見える関係性を構築することで、日常的な支援におけるリファラル(紹介)の心理的ハードルを下げる。 エビデンスに基づく設計：令和2年の調査分析(伊達ら, 2023)において、「回復者の語りを直接聴講した経験」がMSWの支援への積極性を高める重要な規定要因であることが明らかとなっている。この知見に基づき、地域住民としての回復者との「出会い」を通じ、自己責任論を払拭し、強固な支援マインドを醸成する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">事前課題、また事前・事後に効果測定のためのアンケート 有</div> <p>本研修は、MSWの実践力向上に資するため、2022年度から再構築に着手しているインストラクショナルデザインによるプログラムを援用する。そのため参加者に対して研修の効果測定(アンケート)を行う。</p>				
開 催 方 法	<p>事前オンデマンド視聴および集合研修</p>				
開 催 日	<p>【オンデマンド視聴】①2026年10月1日(木)～11月1日(日)(予定)</p> <p>【演習】集合研修/福岡県内(予定) ②2026年11月8日(日)(開始および終了時間は未定)</p>				
定 員	35名	履 修 ポ イ ン ト	10P	担 保 し た 力 量	<p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦</p>
申 込 受 付 期 間	<p>2026年6月29日(月)～7月26日(日) 予定 先着順 ※各回基本的に研修内容は同じですが、開催形式が異なります。2回ともお申込みいただけます。 ※申込は各回ごとに必要です。</p>				
受 講 費	<p>正会員・賛助会員(個人)・賛助会員(団体)・非会員 4,000円(但し厚生労働省依存症民間団体支援事業補助金申請が通った場合)</p>				

一般医療機関における依存症リカバリーソーシャルワーク研修 MSWが知っておくべき依存症と家族支援【第2回】(Webライブ研修)

目 的	<p>一般医療機関における依存症の「治療ギャップ」「相談支援の繋がりにくさ」「偏見・差別」等の解消に向け、ミクロ(本人・家族)・メゾ(地域)・マクロ(制度、政策等)レベルまでを範疇とする効果的で実践できるMSWの依存症支援の実践力を高めることを目的とする。</p> <p>治療ギャップの解消に向けた九州地域のMSWによる先進的な取り組みをしている地域(リージョナル)の事例から学ぶ(昨年度は、東北地域と関西地域の事例を扱った)。</p>				
対 象	<p>一般医療機関のソーシャルワーカー (MSW)・地域包括支援センターのソーシャルワーカー等。</p>				
内 容	<p>先進事例：ミクロ・メゾ・マクロレベル(九州地域における取り組み)</p> <p>【オンデマンド視聴】(1.5時間程度)</p> <p>講義：MSWが押さえておくべき依存症と家族支援の基盤 本編への導入として、MSWが現場で直面する依存症の病態理解と、家族支援の基本的なフレームワークを学習する。</p> <p>【第2回目：Webライブ研修】(6時間30分程度)</p> <p>第2回目はWebライブ研修で「オンライン形式」を実施。</p> <p>1. アルコール依存症回復支援の実際：地域(リージョナル)事例検討 テーマ：治療ギャップの解消に向けた先進的アプローチ 内 容：領域横断的な介入事例(内科、救急、肝移植、児童虐待、がん相談、被災地支援、支援者のバーンアウト対策など)から、開催地域において治療ギャップ解消を実現している具体的な事例を精査・検討する。</p> <p>2. リカバリー・ナラティブ(回復者の語り) 対 象：開催地域で活動する断酒会・家族会等の自助グループメンバー。 実施の狙いと根拠： 地域連携の深化：地域の自助グループと直接連携し、顔の見える関係性を構築することで、日常的な支援におけるリファラル(紹介)の心理的ハードルを下げる。 エビデンスに基づく設計：令和2年の調査分析(伊達ら, 2023)において、「回復者の語りを直接聴講した経験」がMSWの支援への積極性を高める重要な規定要因であることが明らかとなっている。この知見に基づき、地域住民としての回復者との「出会い」を通じ、自己責任論を払拭し、強固な支援マインドを醸成する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> 事前課題、また事前・事後に効果測定のためのアンケート 有 </div> <p>本研修は、MSWの実践力向上に資するため、2022年度から再構築に着手しているインストラクショナルデザインによるプログラムを援用する。そのため参加者に対して研修の効果測定(アンケート)を行う。</p>				
開 催 方 法	<p>事前オンデマンド視聴およびオンライン会議室 (Zoomミーティング) Webライブ研修</p>				
開 催 日	<p>【オンデマンド視聴】①2026年10月1日(木)～11月1日(日)(予定)</p> <p>【演習】オンライン研修(予定) ②2026年12月13日(日)(開始および終了時間は未定)</p>				
定 員	35名	履 修 ポ イ ン ト	10P	担 保 し た 力 量	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
申 込 受 付 期 間	<p>2026年6月29日(月)～7月26日(日) 予定 先着順</p> <p>※各回基本的に研修内容は同じですが、開催形式が異なります。2回ともお申込みいただけます。</p> <p>※申込は各回ごとに必要です。</p>				
受 講 費	<p>正会員・賛助会員(個人)・賛助会員(団体)・非会員 4,000円(但し厚生労働省依存症民間団体支援事業補助金申請が通った場合)</p>				

災害ソーシャルワーク研修I

目的	災害時に必要となる基礎的知識を習得し、災害が発生した際に、ソーシャルワーカーとして適切な活動がどのようなものなのかを理解する。また、本研修を受講することで参加可能となる災害ソーシャルワーク研修IIにおいて、共通言語を持った上で臨むことで、他職種連携や現場対応に対応できる人材となることを目的とする。			
対象	医療機関に勤務するソーシャルワーカーおよび、本研修の目的を理解し、本研修に参加を希望する者。			
内容	<p>【オンデマンド視聴】各領域における専門家によるオンデマンド研修</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害総論 国際的な災害ソーシャルワークの視点と活動、IFSW-AP地域の災害支援活動の実際 当協会における災害ソーシャルワーク活動 2. 災害時の共通理解 CSCATTT、ISC、組織構成や内部統制について 3. 災害に関わる法制度理解 災害救助法、生活再建支援制度、医療費免除など 4. 保健医療福祉調整本部の役割 位置付け、機能、役割、D24H、福祉領域支援の役割 連携 5. 専門チーム理解①DMAT DMAT、emisの概要 6. 専門チーム理解②DPAT DPATの概要 7. 専門チーム理解③DWAT DWATの概要 8. 専門チーム理解④DHEAT DHEATの概要 9. 社会福祉協議会や社会福祉施設の役割と災害支援 国や全社協の災害福祉支援の今後、ささえあいセンター、ボランティア関連組織 10. 被災者の心理 PTSD・悲嘆、グリーフケア、ケアの体制 11. スフィア基準 人道支援の最低基準（スフィア基準）の考え方 12. 被災者支援・被災地支援 災害時に顕在化する社会的脆弱性、常駐のSWr、地域コミュニティ再建の視点 13. 災害と住まい 全壊・半壊の基準、仮設・みなし住宅、生活の場の変遷としての住まい 14. 災害ケースマネジメントソーシャルワーク 個別避難計画・重層支援の繋がり・活動の終結、防災と減災・BCP・ICS 15. 災害と「情報」 災害時の情報（収集・整理・共有）の扱い方を理解 			
開催日	2026年9月1日（火）～ 11月30日（月）			
開催方法	ネットレコーダー・ソリューションズ株式会社の動画配信システムMOPSのオンデマンド視聴			
定員	200名	履修ポイント	10P	担保したい力量 ① ② ③ ⑧ ⑨
申込受付期間	2026年6月1日（月）～ 7月5日（日） 先着順			
受講費	正会員・賛助会員（個人） 6,000円 賛助会員（団体）・非会員 10,000円			

災害ソーシャルワーク研修Ⅱ

開 催	10月会場	11月会場
目 的	災害ソーシャルワーク研修Iで得た知識を基礎に、様々な災害支援の場面に設定された演習を通して、災害時のソーシャルワーカーとして、より具体的で実践的な力を身に着けることを目的とする。	
対 象	災害ソーシャルワーク研修Iを履修済みの方（2025年度受講者含む）で医療機関に勤務するソーシャルワーカーおよび、本研修の目的を理解し、本研修に参加を希望する者。	
内 容	<p>【集合研修】 基本的にすべて、グループに別れた演習形式（一部レクチャーあり） 日本医療ソーシャルワーカー協会や参画する多様な講師陣のこれまでの実績や知見に基づき、実践的なシナリオに沿って、状況に応じた判断やグループ内の協議を体験する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 演習1：避難所支援演習 発災1か月後～3か月 避難所を理解し、ソーシャルワークの展開方法を体験的に学び、実践力を習得する。 #1スクリーニング #2具体的支援 #3地域への引き継ぎ 2. 演習2：在宅被災者支援・アウトリーチ演習 在宅被災者の生活を理解し、アウトリーチの基本的なアプローチ方法を学ぶ。 発災3か月後～ #1関係構築 #2チーム支援 #3多職種連携 3. 演習3：保健医療福祉調整本部演習 保健医療福祉調整本部を理解し、調整本部におけるソーシャルワークの機能と役割について実践的に学ぶ。 発災直後～1週間 #1調整本部機能の理解 #2調整本部内における機能 4. 演習4：福祉施設支援演習 被災地域内の福祉施設について理解し、ソーシャルワーク支援の重要性を学ぶ。 発災直後～1か月 #1福祉施設への外部からの支援 #2施設避難 	
開 催 日	2026年10月24（土）～10月25日（日）	2026年11月28（土）～11月29日（日）
集合研修会場	会場調整中	会場調整中
定 員	200名	履修ポイント 13P
		担保したい力量
		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
申込受付期間	2026年7月13日（月）～8月16日（日） 先着順	2026年8月10日（月）～9月13日（日） 先着順
受 講 費	正会員・賛助会員（個人） 10,000円	賛助会員（団体）・非会員 20,000円

フレッシュ医療ソーシャルワーカー 1日研修

開 催	第46回			第47回	
目 的	保健・医療分野での勤務をスタートさせたフレッシュな医療ソーシャルワーカーに対し、社会人としての基礎や基本的な姿勢、医療ソーシャルワーカーの心構えや知識を学ぶ研修である。 近隣の都道府県医療ソーシャルワーカー協会をはじめ、全国の医療ソーシャルワーカー協会を知り、先輩や同期の仲間と交流を持ち、共に学びを得る機会とする。				
対 象	現に医療ソーシャルワーカーとして従事する者であって、入職後2年未満の者。				
内 容	【Webライブ研修】 1. 活用頻度の高い社会資源(制度) 2. 先輩から学ぶ医療ソーシャルワーカーの心構え(ソーシャルワーカーが医療機関にいる意味) 3. 多職種連携入門 4. 理想の医療ソーシャルワーカーになるために 5. 当協会や都道府県医療ソーシャルワーカー協会等の職能団体について 6. 参加者の交流			【集合研修】	
開 催 方 法	オンライン会議室 (Zoomミーティング) の Webライブ研修			香川県社会福祉総合センター (香川県高松市番町1丁目10-35)	
開 催 日	2026年9月6日(日) 9:50～17:00			2026年11月8日(日) 10:00～17:00	
定 員	70名	履 修 ポ イ ン ト	8P	担保したい力量	③ ⑥ ⑦
申 込 受 付 期 間	2026年5月25日(月)～6月28日(日) 先着順			2026年7月27日(月)～8月30日(日) 先着順	
受 講 費	正会員・賛助会員 2,000円 非会員 4,000円				


社会福祉を学ぶ学生のための医療ソーシャルワーク学生講座

目的	社会福祉を学ぶ学生の「医療ソーシャルワーカーになりたい」「実際の仕事について知りたい」「病院の実習を受ける前に事前学習をしたい」といった要望に応え、正しい職業イメージを習得することを目的とする。
対象	社会福祉を学ぶ大学生2年・3年・4年、社会福祉士養成校学生、大学院生。
内容	【Webライブ研修】 1. 医療ソーシャルワーカーの歴史 2. 医療ソーシャルワーカーの業務 3. 必要な医学知識 4. 他職種とのチーム医療等 5. 社会保障制度とソーシャルワーク 6. グループディスカッション 7. 受講生と医療ソーシャルワーカーの交流会
開催方法	オンライン会議室（Zoomミーティング）のWebライブ研修
開催日	2027年2月27日（土）～2月28日（日）
定員	50名
申込受付期間	2026年11月24日（火）～2027年1月31日（日）
受講費	無料

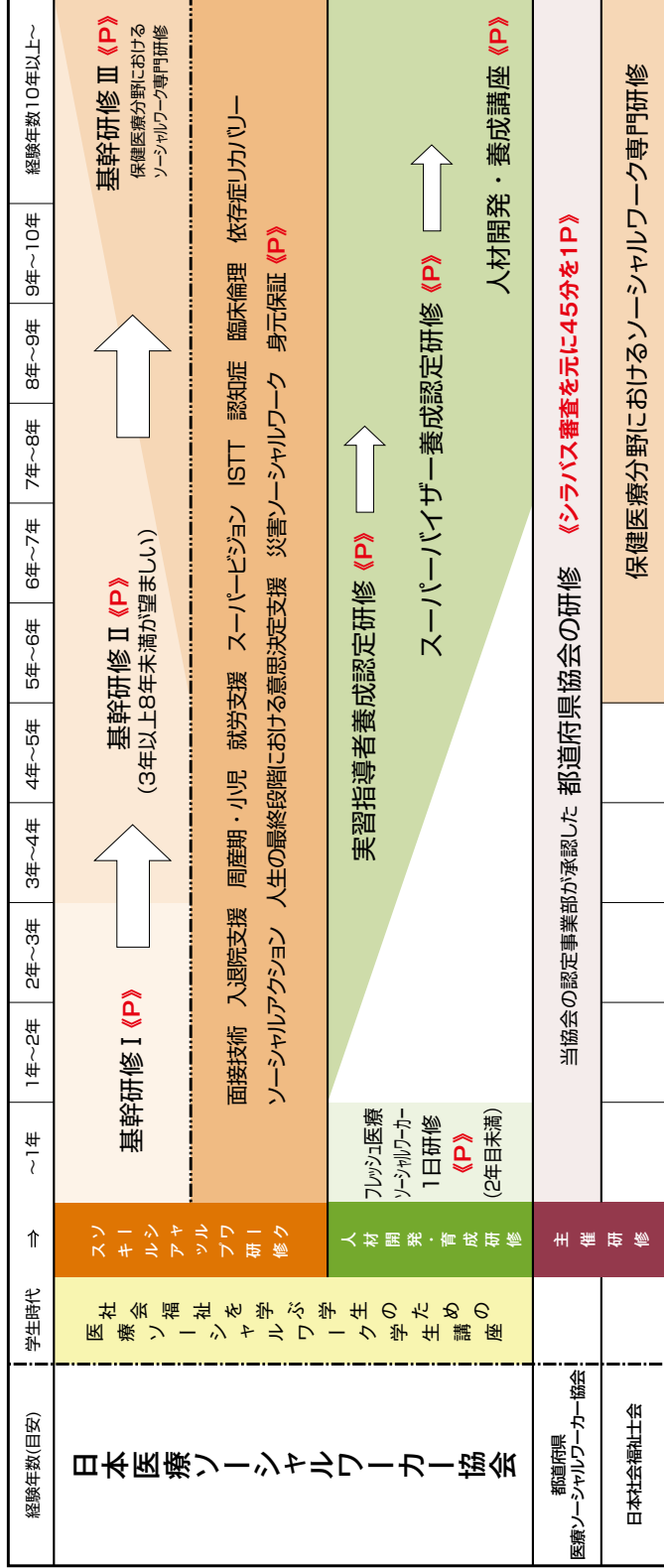
認定社会福祉士認定研修

目 的	「認定社会福祉士」とは、所属組織を中心にした分野における福祉課題に対し、倫理綱領に基づき高度な専門知識と熟練した技術を用いて個別支援、他職種連携及び地域福祉の増進を行うことができる能力を有することを認められたものをいう。本研修では、認定社会福祉士認定申請者と同等以上の実践力を担保することを目的とする。
対 象	<p>■認定医療ソーシャルワーカー登録者であって、(ア)及び(イ)を満たしている者 (ア) スーパービジョン実績(受ける)から6単位を取得していること (イ) 機構のスーパーバイザー登録している場合は、スーパービジョン実績(する)の単位をスーパービジョン実績(受ける)の単位として読み替え可能</p> <p>■その他、日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎課程修了者、登録スーパーバイザー、相談援助実務経験10以上及びチームリーダー的職務経験5年以上の者、大学院在学中に認定社会福祉士認証認定機構が認証した単位を取得した者など、受講要件がある。詳しくは、協会ホームページ「医療分野における認定制度取得のすゝめ」「認定社会福祉士認定ルート」フロー図を参照。 https://www.jaswhs.or.jp/nintei/license_shutokunosusume.pdf</p>
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自宅学習Ⅰ(事前課題 1「ワークブックの活用(基礎的知識の確認等)」, 2「自身の実践支援の開始から終結までの展開過程」, 3「自身の実践の特定場面における振り返り(プロセスレコード、エコマップ)」の作成、講義「知識等確認」(動画視聴)) 2. 集合研修(プロセスレコードを活用したスーパービジョン) 3. 自宅学習Ⅱ(事後課題 4「自身の実践の特定場面の振り返り(プロセスレコード)」の作成)
開 催 方 法	オンライン会議室(Zoomミーティング)のWebライブ研修
開 催 日	2027年2月13日(土)～2月14日(日)
定 員	48名(申込者が定員を超えた場合は抽選)
申 込 方 法 等	2026年9月1日申込受付開始予定 ※認定社会福祉士認証・認定機構のホームページ (https://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/kojin/kenshu/nintei_kenshu.html) ご確認ください。
受 講 費	30,000円(税込)

こども家庭ソーシャルワーカー指定研修

<p>目 的</p>	<p>「こども家庭ソーシャルワーカー」は、こども家庭福祉実務者の専門性向上を目的に設立されたこども家庭庁が管轄する認定資格です。こども家庭福祉のさまざまな場所・立ち位置で活用・実践できるためのソーシャルワークを専門的に学ぶことで、こども家庭福祉に係る支援の専門性の担保を目指します。本資格の取得希望者は、日本ソーシャルワークセンターによる受講要件の確認を受け、必要な研修を受講・修了したのち、同センターが行う資格認定試験を受験し、試験に合格したら同センターに資格の登録を行います。</p> <p>当協会では、2024年度以降、こども家庭ソーシャルワーカー認定資格取得を目指すすべての人が履修する必要のある『指定研修』を開講し、こども家庭福祉に関わりの深い「実践者による実践者のための研修」を提供しています。</p> <p>※一連の手続きは全て研修管理システムmanaableを通して行われます。詳細は日本ソーシャルワークセンターホームページをご参照ください。</p> <div style="text-align: right;">  <p>日本ソーシャルワークセンター https://www.jswc.or.jp/index.html</p> </div>
<p>対 象</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 社会福祉士又は精神保健福祉士として、指定施設において 2 年以上主として児童の福祉に係る相談援助業務に従事した者（第1号） ◎ 社会福祉士又は精神保健福祉士として、指定施設において2年以上児童の福祉に係る相談援助業務を含む業務に従事した者（第2号）
<p>内 容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. こどもの権利擁護 2. こども家庭福祉分野のソーシャルワーク専門職の役割 3. こども家庭福祉Ⅰ（こども家庭をとりまく環境と支援） 4. こども家庭福祉Ⅱ（保護者や家族の理解） 5. こども家庭福祉Ⅲ（精神保健の課題と支援） 6. こども家庭福祉Ⅳ（行政の役割と法制度） 7. こどもの身体的発達等、母子保健と小児医療の基礎 8. こどもの心理的発達と心理的支援 9. 児童虐待の理解 10. 少年非行 11. 社会的養護と自立支援 12. 貧困に対する支援 13. 保育 14. 教育 15. こども家庭福祉とソーシャルワークⅠ （多様なニーズをもつこどもや家庭へのソーシャルワーク） 16. こども家庭福祉とソーシャルワークⅡ （こどもの安全確保を目的とした緊急的な対応に関するソーシャルワーク） 17. こども家庭福祉とソーシャルワークⅢ （地域を基盤とした多職種・多機関連携による包括的支援体制の構築） 18. こども家庭福祉とソーシャルワークⅣ（組織の運営管理）
<p>開 催 方 法</p>	<p>講義 オンデマンド教材視聴 18科目・33時間 演習 ライブオンライン（Zoomミーティング使用） 18科目・67.5時間</p>
<p>開 催 日</p>	<p>2026年7月1日（水）～2026年12月27日（日） ※土曜日コース／日祝日コースの2コース設定し別途スケジュール表公開予定</p>
<p>定 員</p>	<p>各コース 40名</p>
<p>申 込 受 付 期 間</p>	<p>2026年4月13日（月）～2026年6月12日（金） ※主催・後援団体会員優先</p>
<p>受 講 費</p>	<p>当協会会員 130,000円 後援団体会員 160,000円 非会員 180,000円</p>
<p>後 援 団 体</p>	<p>公益社団法人日本社会福祉士会・公益社団法人日本精神保健福祉士協会・特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会</p>

日本医療ソーシャルワーカー協会の研修体系図



※ 《P》はポイントのつく研修 ※ ⇨は積み上げの研修

認定制度から見た研修受講モデル例

経験年数(目安)	学生時代	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
研修名	医療ソーシャルワーカーの学生講座	シラバス認定された都道府県協会主催研修等(60P)									
		基礎研修 I (48P)		基礎研修 II (40P)		基礎研修 III (60P)					
		実践指導者養成認定研修 (30P)		スーパーバイザー養成認定研修(20P)・スーパーバイザー機構登録は10年(一部7年)目以降		スーパーバイザー養成認定研修 (2単位=30P)					
		スーパービジョン(6単位=90P)		認定社会福祉士(保健医療分野)申請・審査		認定社会福祉士(保健医療分野)申請・審査					
スーパービジョン		ダブル認定取得・更新									
認定申請・審査等		認定社会福祉士取得									

認定医療ソーシャルワーカー取得・当協会が実践力の担保を認定



発行 公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会

〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-20 四谷ヂンゴビル2F

TEL 03-5366-1057 FAX 03-5366-1058

E-mail jaswhc@d3.dion.ne.jp

URL <http://www.jaswhs.or.jp/>

印刷 有限会社 ウェルワーク